ふじいてつや活動報告書 通算43号　令和元年5月1日発行

ふじいてつや 活動報告書43

市議会議員 退任のご挨拶

２期８年間を務めさせて頂いてきました大津市議会議員の職を、４月末日の任期満了をもちまして退任させて頂くことといたしました。初当選以来、地域の皆様、市民の皆様からは絶大なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。

おかげさまで、堅田駅西口土地区画整理事業や堅田駅西口広場工事、周辺都市計画道路網の整備のほか全ての市民センターの存続など、多くの地域課題を解決し、皆様と共に実現に結び付けることができました。

国道４７７号、湖西道路の拡幅工事や真野川河川改修など国・県が管轄する事業の実現はもう少し時間を要するものの、市議会議員としてできることはやりきったと考えることから任期満了を一つの節目としたいと考えております。

引き続き、ライフワークである就職氷河期世代に対する支援や雇用労働対策、地域活性などの公共政策の推進に関わりながら、より高いステージに向けて鋭気を養い、機会を見て挑戦していきたいと考えています。

これまでのご指導ご鞭撻にあらためて厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

大津市議会議員　藤　井　哲　也

【発行・お問い合わせ】
藤井哲也後援会　大津市真野2-28-1-812　tel 070-5045-8815　mail info@fujiitetsuya.jp

本紙は全額自費で製作印刷及び配布をしております。（政務活動費は使っておりません）

市議最後の通常会議（２月議会） ご報告

●２０１９年度 大津市一般会計予算案に反対！

予算審査を通じて「和邇市民体育館 耐震改修工事」に要する３０７８万１千円が、市長によりゼロ査定となったことが明らかになりました。和邇市民体育館は大津市原子力災害避難訓練の主会場としてスクリーニング訓練等も実施されたように、大津北部地域における防災上の重要拠点です。

耐震診断結果によればＩＳ値が０．１４であり震度６以上の地震によって、「倒壊、又は崩壊する危険性が高い」とされる施設です。市長査定により削られた３千万円余りの予算は耐震基準を満たすための工事委託費でありました。

市民の皆様の生命や安全にかかわる事業については、最優先で予算を編成すべきと考えます。明日大震災が来ても市民の皆様の生命や生活を守るために、万全の対策を講じておかなければなりませんそれこそが行政の責務であり、議会が果たさねばならない監視機能ではないかと考えます。

また、新年度における「市民病院運営費負担金」は健康保険部からの予算要求額１５億円に対して査定では９億５２００万円の措置に留まっており、差し引き５億４８００万円が年度途中で不足することが考えられます。現在の手元資金の状況を踏まえると、たちまち現金不足が生じる可能性があると言えます。

措置された９億５千万円余りの根拠は基準財政需要額に定められた額で、現下の経営状況を踏まえたものではなく机上の空論と言っても過言ではありません。

この間、湖誠会及び市民ネット２１は会派を代表しての討論で、「総計予算主義の原則」に従って、現在の大津市の予算編成のあり方に対して幾度となく苦言を呈してきました。それなら両会派は予算案に反対すべきでした。言っていることと、やっていることが違うのであれば、市議会全体が市民からの信頼を得る事ができないと考えます。

●防災対策特別委員長として報告 ＆ 副市長人事案に賛成！

市議会防災対策特別委員長の職を平成３０年度務めてきました。地域防災力の向上に向けて執行機関に提言を行いました。また副市長人事案には市長に媚びず部下に驕らず市政発展に貢献してもらいたい旨を述べ、賛成しました。

大津市議会議員としての８年間の活動を振り返って

１期目（２０１１年～２０１５年）

経済成長による雇用創出を志し立候補。１期目の大半は、みんなの党所属議員として、行政改革と経済活性化を主要政策として取り組みました。

●１年目（２０１１年度）
東日本大震災直後の初当選。民間での人事コンサルタント経験を生かし、大津市役所の公務員人事制度の見直しを提言。後年に制度改革の実現へつながりました。市道路占用料の未徴収問題を発見し年間数億円の財源創出。

●２年目（２０１２年度）
越市政が始まる。大津中２いじめ自死事件が起きる中で、全国モデルとなった「いじめ防止条例」制定に委員として関わりました。また学校と地域との連携強化の必要性を痛感し「コミュニティスクール制度」導入を議会で初めて提言。現在、市内多くの学校で導入されています。

●３年目（２０１３年度）
教育長や副市長が市長との関係悪化により年度末前後に相次いで途中退任し市政が大混乱に陥りました。市長に対して市政混乱の責任を問い猛省を促すべく辞職を促しました。この頃から市長の市政運営に疑問。

●４年目（２０１４年度）
知事選を巡る対応の中でみんなの党を離党。三日月現知事を応援。「議会基本条例」や「災害等対策基本条例」制定に委員として関わりました。

２期目（２０１５年～２０１９年）

２期目の前半は政党無所属として、後半は自民党所属議員ながら最大会派には与せず、地域課題の解決に向けて堅実に議会活動に取り組みました。

●５年目（２０１５年度）
谷議員、山本議員とともに闘う会派「志成会」を結成。施設常任委員会副委員長を経験。自ら提案した「議決事件追加検証」に委員として参画。

●６年目（２０１６年度）
地元行事「第２０回鯉のぼり祭り」のイベント長を務めたり、大津ＪＣ活動などで地域おこしに積極的に関わりました。京都大学大学院に学び活動の質を向上させました。自民党に入党し、地域要望の実現に向けまい進。

●７年目（２０１７年度）
会派幹事長として議会運営や議会広報に参画。大津北部選出議員政策研究会副会長や自民党滋賀県連青年局常任幹事などを歴任。議会では都市プロモーション強化や公共交通網の維持、行政評価制度の再構築等を提言。

●８年目（２０１８年度）
市民センター機能等あり方検討（支所統廃合）の進め方に対して数字を用いて対抗。市長にとり不都合な情報や数字は出さない市の情報隠ぺい体質を問題視し全会一致で「情報提供を求める決議」提出にこぎつけました。防災対策特別委員長として市の防災対策に責任ある立場で取り組みました。